

# 令和4年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

## 《基本理念》

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

### —実践要綱—

#### 1. 良質な福祉サービス

- ・利用者・ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

#### 2. 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う幅広い福祉サービスを提供する。

#### 3. 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

#### 4. 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

## 《法人全体の事業計画》

平成24年10月法人設立時の「介護老人保健施設いなほ」1施設体制から平成30年4月「複合型施設いなほ」、平成30年10月「養護老人ホームひのき」開設により、運営施設が3施設に拡大しました。

今年度には、4月1日より「特別養護老人ホームきたひやま荘」「地域密着型特別養護老人ホームせたな雅荘」の2施設が加わり運営施設は5施設となりました。

このような状況も踏まえ、昨年度より継続している3本柱をさらに充実させ、介護職の魅力向上、介護の価値の高揚を図り、魅力のある法人を作ります。

- ①現在の業務を適正なものにするための「業務改善プロジェクト」
- ②皆が働きやすい環境、待遇を考えるための「環境・待遇改善プロジェクト」
- ③介護の知識、技術と共に人として成長していくための「人材育成プロジェクト」

特に、今年度においては、「介護老人保健施設いなほ」「複合型施設いなほ」が連携して一体となった「北斗いなほ」となるべくさまざまな業務改善を優先に取り組み、養護老人ホームひのきでは介護ロボット等導入事業を活用することで更なるICTの活用を見込むことで法人運営の効率化を進めつつ、新たに当法人の一員となった「きたひやま荘」の安定的な運営を確保するとともに、「雅荘」の運営再開に向けて最大限の努力を行います。

また、令和2年2月に第1期生として2人のベトナム人を受け入れた「外国人技能実習生」は、今年度に第2期生の4人、さらに昨年から「特定技能外国人」の受け入れを行い、外国人介護人材が充実し、職員が働きながら異文化交流を経験できることによる国際的視野の享受、技術供与することによるスキルアップを図ります。

このような取り組みにより、「働き方改革」に沿った職員のワークライフバランスの推進、働く皆さんが楽しく社会貢献意義を持てる、より働きやすい環境作り、利用者様に質の高いケアを届け、よりよく生きようという意欲を持っていただく、人生はまだ楽しいと思っただけのように尽力し、「働いてみたい・利用してみたい施設」を目指します。

さらに、当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

## 《介護老人保健施設いなほの事業計画》

### 1. 事業計画総括

昨年度は入院者数が多く、また、コロナ禍の影響からも入所部門の稼働率が目標値よりも低値となりました。通所部門においてもコロナ感染症の影響もあり、今年度目標人数より下回る予定であります。新年度は各部門目標値に到達できるよう課題の抽出・解消の取り組みはもちろんのこと感染症対策においては、コロナウィルスが日常において存在する前提において、サービス利用が安全に利用できる施設運営を目指します。

昨年度は介護報酬改定のもと、自立支援・重度化防止の取り組みから「科学的介護」介護関連データの収集・活用及びPDCAサイクルによる介護ケアの質の向上の取り組みが推奨されました。

データ収集による情報提供はもとより、フィードバックに基づいた、よりケアの質が向上されたサービス提供を進めたいと考えます。「地域包括支援システム」のより一層の推進が求められる中リハビリテーションマネジメントにおいて、地域の特性に応じたサービスを検討し、他事業との連携やコロナ禍の環境から徐々に再開してきた地域へのリハビリスタッフ派遣など、今後拡大していけるよう進めて参ります。介護人材の確保においては、昨年度採用となりました外国人技能実習生が1年経過し、介護評価試験にも合格のもと2年目を迎えております。今年度、新たに2期生の入職を予定しており、外国人技能実習生への技能習得教育はもとより、既存職員とも双方で共存できるケアサービス提供を志していきたいと思っております。また、働き方改革として進めてきております「業務改善プロジェクト」を中心に積極的にIT化を推進し、業務の効率化と省力化を図り、職員のワークライフバランスを大事にした、働きやすい環境の整備に尽力します。

### 2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。

8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

### 3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	月1回	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	月1回	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	1回/2ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全抑制対策委員会	月1回	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
企画委員会	随時	慶祝会、クリスマス会、新年会の施設行事の企画運営を実施する。
口腔衛生委員会	月1回	口腔衛生の維持・向上を主眼に置く。一連の口腔清掃を中心とした口腔ケアと機能の増進を図る。
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。

## 《複合型施設いなほの事業計画》

### 1. 事業計画総括

開設より4年が経過し、昨今、世界中の新型コロナウイルス感染症拡大により、日頃より利用者及び職員の感染予防対策の実施や、新型コロナウイルスワクチン接種および北斗市PCR検査等事業にて職員や新規利用者へPCR検査を実施し、感染予防に努め、稼働率に大きな影響なく運営

してまいりました。

また、介護助手としてシニア世代の積極的な採用や業務改善プロジェクトによる業務の見える化、働き方改革の推進に努めてまいりました。

5年目を迎える令和4年度は、老健いなほとの連携を強化し、「北斗いなほ拠点」して雄心会職員が一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

自然災害や感染症流行などの非常時においても介護サービスの提供を継続し、または迅速に復旧できる体制作りや地域と連携した対応の強化の構築に努めます。

補助金を活用した介護ロボットの導入、IT化を進めるとともに、外国人技能実習生の受入れを行い、より一層の介護サービスの充実を図ってまいります。

## 2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき活動の拡大や気分転換を図る。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

## 3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換、他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫する。
7月	① 外出ドライブ（名所めぐり） ② セタ祭り	①観光名所等に出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ②日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	① 流しソーメン ② いなほ祭りや地域のお祭り参加	①季節を感じて頂き気分転換を図る。 ②様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。
9月	① 慶祝会 ② 外出ドライブ（お買い物）	①長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ②季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	① 果物狩り（サクランボ、プルーン等） ② 紅葉見学ドライブ	①自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ② 紅葉見学から季節の変化を感じる。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ、交流や気分転換を図る。

#### 4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

《養護老人ホームひのきの事業計画》

## 1. 事業計画総括

昨年度、養護老人ホーム（特定施設入居者生活介護）の定員変更を行い、より介護が必要な入所者に対するサービスを充実すべく、特定技能外国人の積極的な採用や地元人材の積極的な採用など安定した人材育成への取り組み、充実した職員教育・研修企画・参加の推進、各種マニュアルや業務内容等の見直しを図り、より良いサービスの提供を実施しておりました。

今年度は介護ロボット等導入支援事業を活用し、ICT化を進めることでサービスの質を維持しつつ業務を効率化し、介護職員の負担削減に取り組みます。

通所介護事業については、新型コロナウイルス感染拡大により、感染防止対策の重視を余儀なくされ、ニーズに即した様々な活動を提供することができず、また広報活動においても不足な状況にありました。

令和4年度は、感染防止対策を徹底しながらも「居宅介護支援事業」も含め、地域の支えになるべく取り組みを強化していきます。

令和4年度全事業において、昨年同様、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築し、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、地域住民参加を含めた訓練（シミュレーション）の実施等、更に檜山地域の医療の基盤である「道立江差病院」との連携を強化し、安定した施設運営、地域支援を目指し取り組んでいきます。

## 2. 養 護：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	② 屋外レクリエーション ②運動会	①外出の機会や施設屋外にある畑を耕し作物を植え入所者とともに管理収穫までの活動を楽しむ。 ③ 健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	①紅葉見学ドライブ ②収穫祭	①外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を企画、楽しんでいただく。 ③ 畑で育てた作物を収穫し実りを楽しむ。
11月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ

		食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会・謡道会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。 子供民謡の披露。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

### 3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
レク・行事委員会	1回/3ヶ月	日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 (虐待防止委員会)	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。

#### 《特別養護老人ホームきたひやま荘の事業計画》

##### 1. 事業計画総括

今年度より法人合併により当法人施設として運営することとなりましたが、今まで通り地域に根付いた社会福祉施設としての役割を全うすることを目的に変わらず地域に愛される施設として、前法人である北檜山恵福会の理念を受け継ぎ、利用者や地域の声や要望を真摯に受け止め満足度を追求し、地域との交流を深めながらこの地域に親しまれる施設を目指し、利用者の安心、安全、快適な生活のため「自立支援」に最大限心がけ運営を行います。

##### 2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ(各ユニット企画)	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	①屋外レクリエーション	①外出の機会や施設屋外にある畑を耕し

	②運動会	作物を植え入所者とともに管理収穫までの活動を楽しむ。 ② 健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。地元町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	紅葉見学ドライブ	①外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を企画、楽しんでいただく。
11月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会・謡道会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。 子供民謡の披露。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

### 3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
レク・行事委員会	1回/3ヶ月	日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 (虐待防止委員会)	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。



## 《地域密着型特別養護老人ホームせたな雅荘の事業計画》

### 1. 事業計画総括

法人合併により今年度から当法人施設として運営再開を目指すこととなりました。

運営再開は地域からの強い要望であり、当法人は地域に住む皆様の思いを可能な限り早期に叶えるべく、令和4年度中の運営再開を目指し、以下の取り組みを実施します。

#### ① 再開へ向けた早期の施設整備

平成30年より休止している施設のため、傷んでいる部分の早急な点検や整備を行う

#### ② 人材の育成

地域人材の発掘及び外国人人材の活用による運営再開のための人材育成を行う

#### ③ 早期の運営再開を目指したプロジェクトの発足

中心となる職員と法人幹部職員によるせたな雅荘運営再開プロジェクトを発足させ、早期の運営再開に向けた各種取り組みを行う